

## ■目 次■

### 2 事業の概要

1. 平成 23 年度事業概要 .....	16
2. 最近 5 ケ年の入試結果.....	26
3. 最近 5 ケ年の薬剤師国家試験結果.....	28
4. 平成 23 年度学位授与数 .....	28
5. 平成 23 年度就職・進学状況 .....	29

## 2 事業の概要

### 1. 平成 23 年度事業概要

#### 1 創立 100 周年記念事業の完遂

##### ① 計画

本学と関係の深いドイツ及びチェコの大使、関係団体代表等を来賓としてお招きして平成 23 年 5 月 28 日(土)に挙げる記念式典、学術講演会及び記念パーティー、並びに品川区との共催、星薬科大学同窓会の後援等により同年 5 月 1 日(日)に開催するチャリティーコンサート等、創立 100 周年記念事業を計画どおり遂行する。

##### ② 実績

創立 100 周年の記念式典、記念講演会及び感謝の集いが、5 月 28 日(土)に本学本館メインホール及び百年記念館において、ドイツ連邦共和国大使、チェコ共和国大使をはじめ、文部科学省など多数の関係機関、関係団体の代表者の臨席のもと、学内外関係者 1,200 人余りが出席して挙行された。

また、5 月 1 日(日)に品川区五反田「ゆうぼうと」において障がい者を招待して開催したチャリティーコンサートも、定員 1,800 人の会場がほぼ満席となり、コンサートを通して品川区社会福祉協議会へ寄付金を贈呈するとともに、チケットの売上代金を東日本大震災の復興支援金として日本赤十字社などへ寄付した。

その他、記念事業として①百年記念館の建設(平成 23 年 1 月竣工)、②歴史資料館の整備、③薬学シンボルマークの設置、④校旗の作製、⑤ 100 周年ロゴマークの制定、⑥「100 周年記念写真集」の刊行、⑦「創立 100 周年記念」DVD 及び「チャリティーコンサート」DVD の作製、⑧「創立 100 周年記念事業記録」の刊行を行った。

#### 2 本館ドーム等の一部補修

##### ① 計画

老朽化に伴い一部損傷している本館ドーム等の一部補修を行う。

##### ② 実績

本館屋上ドームの漏水箇所の防水工事を実施した。ドーム自体の補修については、調査を継続中であり、調査完了後、改めて検討することとした。

### 3 薬学科及び創薬科学科の博士課程の新設

#### ① 計画

平成 18 年度に設置された 6 年制課程の薬学科は平成 23 年度に完成年度を迎えるため、博士課程を設置するための準備を行う。また、4 年制課程の創薬科学科を基礎とする博士課程(前期)も平成 23 年度に完成年度を迎えるため、博士課程(後期)を設置するための準備を行う。

#### ② 実績

平成 23 年度に 6 年制が完成した薬学部薬学科を基礎とする大学院薬学研究科薬学専攻(博士課程)、及び薬学部創薬科学科を基礎とする大学院薬学研究科総合薬科学専攻(博士後期課程)の設置が文部科学省から認可された。これらの博士課程は平成 24 年 4 月に開設する。

### 4 医薬連携の推進

#### ① 計画

平成 22 年に学術交流協定を締結した山梨大学を始め、医学部を有する大学等との連携を推進する。

#### ② 実績

平成 22 年度に山梨大学及び東京慈恵会医科大学と学術交流協定を締結したのにつき、平成 23 年 7 月に日本医科大学と学術交流協定を締結した。

### 5 ゼミ室の整備・拡充

#### ① 計画

6 年制課程設置に伴う教室・研究室所属卒論生の増加に対応するため、現在空き室となっている本館内の旧第 3 会議室及び旧同窓会本部・倉庫等をゼミ室用に整備、拡充する。

#### ② 実績

本館 3 階の旧第 3 会議室及び旧同窓会本部・倉庫等に個人自習用机及び椅子 96 台を入れ、ゼミ室(卒論生学習室)として整備・拡充した。

### 6 共通利用機器の更新

#### ① 計画

フローサイトメーター(細胞に試薬をつけ高速で流してレーザー光を照射し、蛍光の様子を解析することで細胞の種別を判別する装置)等の共通利用機器を更新する。

#### ② 実績

計画どおり共通利用機器を更新した。

## 7 新館 AV 装置の部分的更新

### ① 計画

平成 13 年の新館竣工時に導入した新館各講義室の AV 装置について使用頻度を勘案しながら一部更新する。

### ② 実績

AV 装置の更新予定の講義室の変更等、計画の見直しを行ったため平成 23 年度には実施せず、補助金の申請に合わせて平成 24 年度に実施することとした。なお、一部講義室において不具合となったプロジェクター等の更新を実施した。

## 8 キャンパス内の立木に係る環境整備

### ① 計画

キャンパスの景観維持、薬用植物の生育環境確保、強風による倒木の危険回避等のため、キャンパス内の立木を剪定、伐採する。

### ② 実績

近隣住宅への落葉回避、倒木危険回避、薬用植物の育成環境確保、景観維持などのため、道路との敷地境界にある立木の剪定、伐採を一部実施した。また、中原街道と旧中原街道の間にある桜の枝が近隣の建物まで伸びていたため、剪定を実施した。

## 【継続事業】

### 1 星薬科大学歴史資料館の整備と医薬品化学研究所の改修

#### ① 計画

本館3階に設置されている創業者星一記念室の資料に新たに本学の歴史に係る資料も加え、広く一般の閲覧に供するため、来訪者の利便性の高い医薬品化学研究所一階に移転し、『星薬科大学歴史資料館』として整備する。このため、医薬品化学研究所の玄関ホールを拡張し、旧理事室と旧資料室等を統合し一体化する改修工事を行う。

#### ② 実績

星薬科大学歴史資料館を4月20日に竣工し、館内のレイアウト等に関する委員会における検討を経て5月21日に開館した。5月28日の100周年記念式典では多数の来賓の見学があった。

### 2 教育・研究環境の整備

#### (1) 病院・薬局・地域薬剤師会との連携強化

##### ① 計画

病院・薬局実務実習を効果的に実行するため、病院・薬局・地域薬剤師会との交流を重ね連携を強化する。

##### ② 実績

薬剤師の研修を目的とした薬剤師会主催のセミナー開催における施設の貸し出し、運営協力等を通して交流を重ねた。また、品川区薬剤師会に協力し、本学との共催による荏原地区研修会を開始した。さらに、学校薬剤師会の勉強会にも参加し、品川区薬剤師会へのバックアップをしている。

#### (2) 補助事業の推進

##### ① 計画

次の補助事業等を推進する。

(ア) 平成19年度に採択され、5ヵ年計画の最終年を迎える文部科学省オープンリサーチセンター整備事業

研究プロジェクト名：「血管新生治療戦略におけるターゲット・バリデーションと先端的創薬研究」

(イ) 平成20年度に採択され、5ヵ年計画の4年目を迎える文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

研究プロジェクト名：「現代人の抱える疾患による脳高次機能変化に関する薬学的研究」

##### ② 実績

補助事業を計画どおり推進した。私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の平成23年度中間評価結果が通知され、2名の委員の評価は、A及びBであった。

### (3) 創薬科学研究センターの活性化

#### ① 計画

以下の研究プロジェクトを引き続き推進すること等により、創薬科学研究センターの活性化を図る。

研究プロジェクト名：「熱帯・亜熱帯原虫疾患アフリカおよび  
アメリカ・トリパノソーマ治療薬の開発」

#### ② 実績

原虫疾患治療薬について富士フィルム株式会社と共同研究契約を締結し、研究を推進した。

なお、創薬科学研究センター・原虫疾患研究室の研究は産学官連携の優れた取り組みであるとして、本学と本学発ベンチャー企業(株)シンスター・ジャパンは、日刊工業新聞社主催、中小企業基盤整備機構共催の「第6回モノづくり連携大賞 特別賞」を受賞した。

### (4) 国際交流の推進

#### ① 計画

現在、姉妹校または学術交流協定関係にある北京大学、テキサス大学、アイルランガ大学、チュラロンコーン大学、ウプサラ大学、マレーシア・プトラ大学、嘉南薬理科技大学及びその他の外国諸機関との学術交流を一層推進する。

#### ② 実績

米国ジョージアヘルスサイエンス大学などの教員との共同研究等を通して国際交流を推進した。台湾の嘉南薬理科技大学の副学長等が12月20日(火)に来学し交流に関する打合せを行った。また、国際交流に役立てるため、大学紹介用の英語版DVDを作成した。

### 3 産官学連携の推進

#### ① 計画

教育研究及び大学経営の活性化等を図るため、産官学の連携を推進する。

#### ② 実績

独立行政法人理化学研究所、塩野義製薬株式会社等との共同研究を通して、産官学の連携を推進した。

## 4 広報活動の強化

### (1)入試広報活動の強化

#### ① 計画

十分な入学希望者を確保するため、ホームページ等を利用した情報発信及び入試相談会等を活発に行う。

#### ② 実績

ホームページ、大学案内等を利用した情報発信に努めたほか、高等学校等の教員を対象とした入試説明会を1回(91校93名参加)、オープンキャンパスを4回(高校生等2,521名、同伴父母等1,294名参加)開催するとともに、学園祭開催時に入試相談室を設けて受験生等の入試相談に対応した。

また、全国大学・短期大学・専門学校進学相談会に参加し、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県及び群馬県の23か所において進学相談にあたった。

### (2)高大連携の促進

#### ① 計画

文部科学省の高大連携事業に積極的に参加する等、高校生の薬学に関する関心を喚起する。

#### ② 実績

神奈川県立柏陽高等学校の薬学志望の生徒を対象に、「薬学への招待2011」と題して体験実習、薬用植物園見学等を6月25日(土)に本学において行い、38名の生徒が参加した。

## 5 学生支援活動の強化

#### ① 計画

学生の幅広い就業の機会の拡大を図るため、受入れ機関との情報交換を一層密に行う。

#### ② 実績

(ア)学内企業説明会を4回開催し、製薬メーカー、病院、調剤薬局等148団体の参加を得た。

(イ)頻繁な企業訪問による学生の負担増の軽減と企業研究を目的に、学内で昼食を取りながら企業担当者から説明を受ける「ランチョンセミナー」を1社ごとに実施し、11社の参加を得た。

(ウ)9月14日(水)に内定先及び有力企業等の人事担当者等を招き本学教員との就職懇談会を開催し情報交換を図った。75社、115名の参加があった。

(エ)内定学生が後輩に就職活動のアドバイスをする「就職内定報告会」を業種ごと(研究開発職、MR職、病院薬剤師、公務員)に企画実施し、延べ300名程の参加があった。

(オ)夏期研修見学(短期インターンシップ)を7月29日～9月10日に実施し、3年、4年及び5年次生を中心に、延べ120名(学部学生の11%)が参加した。

(カ) 全学年を対象に、公務員試験対策講座を年2回、外部業者に委託して開講し、延べ105名の参加を得た。

(キ) 就職における TOEIC の重要性に鑑み、TOEIC テストを例年どおり学内で年3回実施し、一定の成績に達した者には受験料を全額補助する等の支援を行った。

## 6 社会貢献

### (1) 星薬科大学生涯研修認定制度の強化拡充

#### ① 計画

「公益社団法人薬剤師認定制度認証機構」により認証された生涯研修認定制度の実施機関として各種研修プログラムを実施し、もって社会貢献を果たす。

#### ② 実績

平成22年度と同様に薬剤師生涯学習コース、社会人大学院受講コース及び生涯教育講座を開講した。受講生は順調に増え100名を超えた講座もあった。また新たに実務実習指導者研修コースとして、長期実務実習に関わる薬剤師を対象に最新の技能を学ぶためのコースを開講し、3名に認定薬剤師証を交付した。講座開催日数は以下の通りである。

#### 【主催】

薬剤師生涯学習コース

「講演会シリーズ」：8日間開催

「リフレッシュセミナー」：9日間開催

実務実習指導者研修コース：2日間開催

社会人大学院受講コース：前期24講座、後期23講座開講

生涯教育講座：2日間開催

#### 【共催等】

同窓会地方研修会等：2日間開催

## (2) 薬用植物園の公開と推進

### ① 計画

薬用植物園の公開を継続して推進し、社会貢献を果たす。

### ② 実績

本学薬用植物園の情報発信と薬用植物に関する学生の教育に努めた。また公開講座等を通じて薬用植物に関する啓発・啓蒙に寄与した。

#### (ア) 学外見学者

個人見学者 713 名(記名分)

#### (イ) 導入・分譲植物種類数

導入(市販品 5 種、栽培機関 18 種、外国 12 種)・分譲(7 種)

#### (ウ) 園内整備

- ・大きくなりすぎた樹木の大規模剪定(ニッケイ、ホオノキ、ケンボナシ、キジユ、オオシマザクラ、モクレン)
- ・園内排水のための U 字溝新設

#### (エ) 研修会・社会活動

- ・公開講座「薬草見学会」(品川区共催)

7 月 2 日(土) 見学参加者 101 名(申し込み 167 名から抽選)

薬草園案内・植物化学研究部員 約 20 名

10 月 22 日(土) 見学参加者 73 名

薬草園案内・植物化学研究部員 5 名、漢方研部員 15 名

- ・インターンシップ学生受け入れ

法政大学生命科学部より 1 名(24 年 2 月)

#### (オ) マスコミ取材等

本学薬用植物園の展示資料(標本)数は、全国の大学博物館の自然科学系の部門で第 5 位となっている。(『大学ランキング 2011』(朝日新聞出版))

## 7 収益事業の調査検討

### 知的財産活用の調査検討

#### ① 計画

学内及び他機関との共同研究によるシーズの発掘とその活用を継続して調査検討する。

#### ② 実績

知的財産管理委員会等にて知的財産の活用を検討した。平成 23 年度は、特許 1 件、実用新案 1 件の申請を行った。また、実用新案 1 件が登録された。

## 8 学校法人星薬科大学役員、評議員の改選

学校法人星薬科大学役員、評議員の任期満了に伴う改選が行われ、理事 11 名、監事 3 名、評議員 34 名が選任された。任期は平成 23 年 4 月 1 日から 4 年間である。平成 23 年 7 月 26 日開催の理事会において大谷卓男理事が理事長に再任され新理事会が発足した。

## 9 次期学長の選任

中嶋暉躬学長の任期満了に伴う次期学長選任について、学長候補者選考委員会の選考結果を踏まえ 12 月の理事会にて審議した結果、現理事の田中隆治氏を学長予定者として選任し、本人の意思を確認の上、次期学長に任命した。任期は、平成 24 年 4 月 1 日から 4 年間である。

## 10 大谷記念研究助成金の授与

平成 23 年度標記助成金の受賞者として次の 3 名が選考され、授与式が 5 月 21 日に行われた。

### (1) 大貫 義則 助教(薬剤学教室)

研究課題「MRI を利用した製剤中の水分子運動性の可視化および製剤特性との因果関係の解明」

### (2) 奥 輝明 助教(微生物学教室)

研究課題「免疫組織特異的アクチン結合タンパク質 p57/coronin-1 の機能とリン酸化による制御」

### (3) 岩瀬 由布子 博士後期課程 3 年(創剤構築研究室)

研究課題「塩酸イリノテカン封入ソマトスタチン受容体ターゲティングリポソーム製剤による甲状腺髄様癌治療効果の改善に関する研究」

## 11 ハラスメント防止対策の実施

ハラスメント防止のため、パンフレット「ハラスメントのない明るいキャンパス」を作成し、教職員、学生に配付した。

また、教職員、大学院学生等を対象に、弁護士を講師にハラスメント予防講演会を平成 23 年 12 月 14 日(水)に開催した。

## 12 ファカルティー・ディベロップメント(FD)学内シンポジウムの開催

教員の教育能力向上のための標記シンポジウムを平成 23 年 7 月 13 日及び平成 24 年 3 月 7 日に開催した。

### 13 自然災害による建物、機器等の補修工事の実施

平成 23 年 3 月 11 日発生の東日本大震災による一部建物の梁、壁、床の亀裂などの補修工事を実施した。工事費用について文科省の補助金を申請し 2 分の 1 の交付を得た。

また、同年 8 月 26 日発生の落雷による防災機器の不具合の補修及び同年 9 月 22 日発生の 15 号台風による防音壁、柵の離脱の補修を実施した。工事費用については全額火災保険で対応できた。

### 14 東日本大震災に伴う授業料等の減免

東日本大震災に伴い、実家の家屋が損壊または福島原発事故により避難を余儀なくされた学生 10 名(学部学生 9 名、大学院学生 1 名)に対し、授業料等を減免した。

また、東日本大震災、福島原発事故及び台風 12 号で被災した 13 名の受験生について、受験料を免除した。

### 15 規程の整備

主に次の規程を整備した。

学校法人星薬科大学広報委員会規程制定

評議員表彰規程一部改正

星薬科大学ソフトウェア管理規程制定

施設利用規程一部改正

星薬科大学歴史資料館管理運営規程制定

事務職員の昇格昇任に関する内規一部改正

## 2. 最近5ヶ年の入試結果

### 【推薦入学選考（一般公募制）】

年 度		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
平成 24 年度	薬学科(専願)	80	286(208)	285(208)	83(63)	83(63)	3.4
	薬学科(併願可)	20	277(218)	275(217)	93(83)	45(38)	3.0
	創薬科学科(併願可)	4	34(18)	34(18)	14(7)	6(4)	2.4
平成 23 年度	薬学科(専願)	80	295(204)	294(204)	84(55)	84(55)	3.5
	薬学科(併願可)	20	219(172)	215(171)	83(71)	40(33)	2.6
	創薬科学科(併願可)	4	32(17)	32(17)	14(9)	5(3)	2.3
平成 22 年度	薬学科(専願)	80	231(168)	230(168)	84(68)	84(68)	2.7
	薬学科(併願可)	20	290(227)	284(222)	92(77)	48(40)	3.1
	創薬科学科(併願可)	4	42(25)	42(25)	20(10)	7(5)	2.1
平成 21 年度	薬学科(専願)	80	304(232)	300(229)	93(71)	93(71)	3.2
	薬学科(併願可)	20	234(192)	230(188)	101(84)	48(42)	2.3
	創薬科学科(併願可)	4	48(19)	46(19)	22(8)	16(7)	2.1
平成 20 年度	薬学科(専願)	80	388(268)	382(265)	103(71)	103(71)	3.7
	薬学科(併願可)	10	172(119)	169(117)	44(31)	15(9)	3.8
	創薬科学科(併願可)	5	25(11)	25(11)	12(7)	10(6)	2.1

( ) 内は女子内数

### 【一般入試（A方式：大学入試センター試験利用）】

年 度		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
平成 24 年度	薬 学 科	10	975(595)	970(593)	161(105)	15(9)	6.0
	創薬科学科	4	179(80)	178(79)	60(26)	5(2)	3.0
平成 23 年度	薬 学 科	10	862(530)	860(530)	134(83)	11(4)	6.4
	創薬科学科	4	116(58)	116(58)	23(13)	3(1)	5.0
平成 22 年度	薬 学 科	10	802(496)	796(492)	122(80)	2(1)	6.5
	創薬科学科	4	104(44)	102(43)	22(8)	1(0)	4.6
平成 21 年度	薬 学 科	10	784(476)	776(472)	115(73)	4(1)	6.7
	創薬科学科	4	129(52)	128(52)	18(7)	1(1)	7.1
平成 20 年度		10	934(541)	928(540)	124(73)	14(5)	7.5

( ) 内は女子内数

【一般入試（B方式：本学実施試験利用）】

年 度		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
平成 24 年度	薬 学 科	120	1,697(987)	1,629(948)	313(184)	108(63)	5.2
	創薬科学科	8	161(68)	156(65)	48(15)	13(4)	3.3
平成 23 年度	薬 学 科	120	1,549(897)	1,491(866)	336(179)	131(65)	4.4
	創薬科学科	8	143(55)	136(52)	56(21)	13(6)	2.4
平成 22 年度	薬 学 科	120	1,490(895)	1,448(876)	377(231)	118(69)	3.8
	創薬科学科	8	171(63)	162(60)	58(20)	18(4)	2.8
平成 21 年度	薬 学 科	120	1,622(941)	1,556(915)	280(154)	99(56)	5.6
	創薬科学科	8	153(48)	142(47)	60(14)	20(5)	2.4
平成 20 年度	薬 学 科	120	1,739(975)	1,674(939)	384(217)	115(72)	4.4
	創薬科学科	10	131(48)	126(46)	70(27)	28(15)	1.8

( ) 内は女子内数

【一般入試（S方式：本学実施試験利用）】

年 度		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
平成 24 年度	薬 学 科	30	532(324)	476(288)	118(69)	39(20)	4.0
	創薬科学科	4	72(23)	62(22)	20(8)	10(4)	3.1
平成 23 年度	薬 学 科	30	426(245)	368(215)	97(57)	24(15)	3.8
	創薬科学科	4	59(17)	54(16)	20(5)	7(4)	2.7
平成 22 年度	薬 学 科	30	474(279)	406(240)	85(48)	16(10)	4.8
	創薬科学科	4	68(20)	59(17)	15(3)	1(0)	3.9
平成 21 年度	薬 学 科	30	342(214)	289(183)	79(43)	23(13)	3.7
	創薬科学科	4	63(22)	60(21)	15(2)	4(0)	4.0
平成 20 年度	薬 学 科	40	392(224)	338(190)	80(35)	24(10)	4.2
	創薬科学科	5	46(17)	40(15)	16(5)	0(0)	2.5

( ) 内は女子内数

### 3. 最近 5 ヶ年の薬剤師国家試験結果

年 度	受験者数	合格者数	合格率	順位
平成 23 年度(第 97 回)	211	205	97.16%	23(私立 49 大学中)
平成 22 年度(第 96 回)	3	1	33.33%	13(私立 30 大学中)
平成 21 年度(第 95 回)	25	19	76.00%	2(私立 45 大学中)
平成 20 年度(第 94 回)	264	256	96.97%	2(私立 45 大学中)
平成 19 年度(第 93 回)	273	252	92.31%	10(私立 38 大学中)

#### 【総 数】

年 度	受験者数	合格者数	合格率	順位
平成 23 年度(第 97 回)	222	210	94.59%	11(私立 49 大学中)
平成 22 年度(第 96 回)	33	13	39.39%	38(私立 44 大学中)
平成 21 年度(第 95 回)	72	46	63.89%	25(私立 45 大学中)
平成 20 年度(第 94 回)	318	282	88.68%	8(私立 45 大学中)
平成 19 年度(第 93 回)	337	290	86.05%	13(私立 38 大学中)

### 4. 平成 23 年度学位授与数 (平成 24 年 3 月 31 日現在)

区分	人数
課程博士	7 名
課程外博士	11 名
修士	29 名
学士	242 名
合計	289 名

## 5. 平成 23 年度就職・進学状況

(平成 24 年 3 月 31 日現在) (人)

	薬 6		薬学計	創 4		創薬計	M2		D3		大学院計	総計	
	男	女		男	女		男	女	男	女			
内 定	製 造 販 売 業	医 薬 品	MR	19	9	28	2	1	3		1	32	
			研究						3		1	4	4
			開発	1	2	3			1			1	4
			研究開発						1	1		2	2
			学術・薬事	1	3	4							4
			技術・総合		1	1			3	1		4	5
	化 学 等	営業・企画	1	2	3							3	
		研究・開発	2		2			1	2		3	5	
		技術・総合	1	3	4			2			2	6	
先	卸売業		3	1	4							4	
	ドラッグストア		13	21	34							34	
	調剤薬局		7	44	51			1			1	52	
	病院		18	27	45			3	2	1	6	51	
	CRO・SMO		1	10	11		1	1	2	1	3	15	
	教育・研究		1		1				1		1	2	
	国家公務員												
	地方公務員		4	4	8							8	
	独立行政法人			1	1							1	
	就職決定学生数		72	128	200	2	2	4	17	9	2	28	232
※ 就職率 %		99	98	99	100	67	80	94	90	100	93	97	
進 学	大学院		3	2	5	12	14	26	1			1	32
	専攻生・研修生		1		1								1
	専門学校		1		1								1
	病院研修生		1		1					1		1	2
	ポスドク・留学									2	1	3	3
	医・歯学部												
※ 進路決定学生数		78	130	208	14	16	30	18	9	5	1	33	271
進路決定率 %		99	98	99	100	94	97	95	90	100	100	94	98
進路未定学生数		1	2	3	0	1	1	1	1	0	0	2	6
進路未定率 %		1	2	1	0	6	3	5	10	0	0	6	2

調査対象学生数 277

[内訳] 薬学 6 年 211 (男 79、女 132) : 創薬 4 年 31 (男 14、女 17)

M2 29 (男 19、女 10) : D3 6 (男 5、女 1)

※ 就職率 = 就職決定学生数 ÷ (総数 - 進学) ※ 進路 = 就職 + 進学